

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公開番号】特開2016-92696(P2016-92696A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-227533(P2014-227533)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/439 (2011.01)

H 0 4 H 20/28 (2008.01)

【F I】

H 0 4 N 21/439

H 0 4 H 20/28

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月3日(2016.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受信信号から 1 つの番組において複数の音声モード及び言語のセットの音声データの存在を検出する検出部と、

前記複数の音声モード及び言語のセットの音声データを復号する復号部と、

コンポーネントタグを参照して特定される優先度に基づいて、前記複数の音声モード及び言語のセットの通知情報を出力する通知部と、

前記複数の音声モード及び言語のセットのうち前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットを、操作入力に応じて選択する選択部と、
を備える受信装置。

【請求項 2】

前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットは、前記復号部が再生できる音声モードを含むセットである請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 3】

チャンネル選択信号に基づいて前記受信信号を受信する放送チャンネルを選択する選局部を備え、

前記検出部は、前記受信信号から番組を構成する音声データと同一の内容に係る音声モードの音声データを示す識別子を抽出し、前記識別子に基づいて前記複数の音声モード及び言語のセットを検出する請求項 1 または請求項 2 に記載の受信装置。

【請求項 4】

少なくとも番組の音声データを含む番組データと前記番組の構成要素を示す構成情報を多重化して放送波を送信する送信装置と、前記放送波を受信する受信装置とを備える放送システムであって、

前記受信装置は、

前記放送波の受信信号から 1 つの番組において複数の音声モード及び言語のセットの音声データの存在を検出する検出部と、

前記複数の音声モード及び言語のセットの音声データを復号する復号部と、

コンポーネントタグを参照して特定される優先度に基づいて、前記複数の音声モード及

び言語のセットの通知情報を出力する通知部と、

前記複数の音声モード及び言語のセットのうち前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットを、操作入力に応じて選択する選択部と、
を備える放送システム。

【請求項 5】

受信装置における受信方法であって、

受信信号から 1 つの番組において複数の音声モード及び言語のセットの音声データの存在を検出する検出過程と、

前記複数の音声モード及び言語のセットの音声データを復号する復号部と、

コンポーネントタグを参照して特定される優先度に基づいて、前記複数の音声モード及び言語のセットの通知情報を出力する通知過程と、

前記複数の音声モード及び言語のセットのうち前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットを、操作入力に応じて選択する選択過程と、

を有する受信方法。

【請求項 6】

受信装置のコンピュータに、

受信信号から 1 つの番組において複数の音声モード及び言語のセットの音声データの存在を検出する検出手順と、

前記複数の音声モード及び言語のセットの音声データを復号する復号手順と、

コンポーネントタグを参照して特定される優先度に基づいて、前記複数の音声モード及び言語のセットの通知情報を出力する通知手順と、

前記複数の音声モード及び言語のセットのうち前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットを、操作入力に応じて選択する選択手順と、

を実行させるためのプログラム。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のプログラムを記憶するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記の課題を解決するためになされたものであり、本発明の一態様は、受信信号から 1 つの番組において複数の音声モード及び言語のセットの音声データの存在を検出する検出部と、前記複数の音声モード及び言語のセットの音声データを復号する復号部と、コンポーネントタグを参照して特定される優先度に基づいて、前記複数の音声モード及び言語のセットの通知情報を出力する通知部と、前記複数の音声モード及び言語のセットのうち前記通知情報が示す音声モード及び言語のセットを、操作入力に応じて選択する選択部と、を備える受信装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

多重化部 113 は、番組データ生成部 111 から入力された番組データ、及び構成情報生成部 112 から入力された構成情報を多重化して、所定の形式（例えば、TLV (Type Length Value) パケット）の多重化データを生成する。多重化部 113 は、生成した多重化データを暗号化部 114 に出力する。

暗号化部 114 は、多重化部 113 から入力された多重化データを所定の暗号化方式（

例えば、AES (Advanced Encryption Standard))を用いて暗号化する。暗号化部 114 は、暗号化した多重化データを送信部 115 に出力する。

送信部 115 は、暗号化部 114 から入力された多重化データを受信装置 31 に放送伝送路 12 を介して送信する。ここで、送信部 115 は、ベースバンド信号である多重化データで所定の搬送周波数を有する搬送波を変調させて、搬送周波数に対応したチャネル帯域の電波 (放送波) をアンテナ (図示せず) により放射する。